

会議録詳細

教育委員会	<p>～資料に基づき説明～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●統合後の具体的な対応や、先日PTAで取りまとめた意見に対する説明とする。</li> <li>●2月に開催した保護者・地域説明会時は複式学級が1学級であったが、来年度複式学級は2学級の見込である。</li> <li>●2-(2)-④(2ページ)について、統合する時期は保護者や学校関係者、高島小関係者とも協議し判断する。</li> <li>●統合かどうかの最終的な判断は、町費臨時教員の配置人数の関係もあり、人件費を伴う予算策定を考慮すると、年内には判断したい。遅くとも来年1月末までにはと考えている。</li> <li>●最終判断について、設置廃止については教育委員会となるが、その手順としては、保護者等の意見を踏まえ、教育委員会議で最終決定。その後町長や管理職への説明。そして議会への説明を行う。</li> </ul>
保護者 教育委員会	<p>今回の説明会が最後となるのか。</p> <p>今回は保護者を対象とした説明会のため、今後地域を入れた説明会を開催する必要がある。</p>
保護者	<p>最終判断について、PTAの総意や学習会等を開催することもあると思うが、反映されるのか。</p>
教育委員会	<p>進め方については、PTA役員とも協議したい。</p>
保護者 教育委員会	<p>最終判断の進め方を含めた協議か</p> <p>そのとおり。</p> <p>6月17日に開催した高島小保護者・北部地域保育所保護者説明会でも同様の意見があった。今回の利別小保護者説明会の内容を高島小PTA役員に説明し、今後の進め方について、両校PTA役員に相談し進めていく。町費臨時教員の人件費に関する予算編成リミット時期を意識しながら協議を進めていきたい。</p>
保護者	<p>13ページの「5これからの社会で求められる力の育成」の「これからの社会で～難しい面があると考えています。」と記載しているが、「難しい面」とはどんなことか。</p>
教育委員会	<p>他の少人数学校で授業参観した際、児童の授業を受ける態度が好ましいものではなく、学習態度・規律が身につけていなかった。校長と話した際、少人数がゆえに先生と児童の距離感が近く、友達感覚となっている。全員ではないがそういうことが出てくる。先生との距離が近くなることで、学習態度に集中力が欠けることが往々にあると思われる。そのため一定規模の中で意見を交わし切磋琢磨しながら学習態度を身に付けていくことが望ましいと思われる。</p>

<p>保 護 者</p>	<p>それは現場の実態を見た教育長の主観である。先日のアンケート鑑文で、これからの社会で求められる力を身につける効果的な教育活動の限界は10人程度の小規模校・複式学級では難しいことが指摘されており、と書かれているが、どこで指摘されているのか。関連して先ほど質問された方のように、アンケートでは考えを持っている方が多い。今現在10人程度の学級である利別小の規模だから学べることがあるとか、大規模校だから力を身につけることができるという考えは古い考え方など、多数の方がアンケートで意見を出している。この地域の意識が高くて、業界の人間でなく、一般市民がそれだけ危惧をしている。肝心な部分が伝わっていない。これからの社会で求められる力と学級規模との関連。小規模校や複式学級であることで、これからの社会で求められる力は身につかないのか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>その件は前回の説明会でも答えたと思うが、国の基本的な考えは、標準的学級数が12から18学級で、池田小は小規模校である。クラス替えできない学校が小規模校である。正しいかどうかは別として、何度も言っているが、小規模校だからといってこれからの社会で求められる力が身につかないというわけではなく、色々難しい面がある。先ほどの学校参観時の話しは主観であるが、校長からもそういうことが原因ではないかと話していたという事実関係を話したまでである。小規模校が望ましいとの意見があったが、公立の学校は国の制度により行っていかねばならない。国は小規模校を進めているわけではない、あくまでも北海道はへき地小規模校が多いため、そのような学校に対してどのような指導が必要かを研究している。国は小規模校化を進めていないため、35人学級も進んでないし、教職員定数改善が進んでいない。</p>
<p>保 護 者</p>	<p>あえて申し上げますと、これまでの説明会でも利別小の校風で子どもたちが伸び伸びしていることが良いとの意見があったが、学力の面については、学校が特定されるため資料は出していないが、今年度の学力学習状況調査の採点結果について、全国的な集計は秋ぐらいにできるが、自校採点の状況で見ると、十勝管内の小中学校は全道平均を上回った。ところが池田町の小中学校は8ポイント以上下がっている。十勝管内的に池田町の小中学校は最低ランクかと思う。</p> <p>これがどういうことかということ、本来身につけていなければならない学力、1年生からの積み上げが小学校6年生の段階で、身につけてないということである。こうした現状を踏まえた場合、当然学力だけではなく、知徳体の徳と体も重要だが、学力が身につけていないことが子どもたちの将来の可能性を狭める要因になると考える。池田町における学力の問題は非常に喫緊の課題であると感じる。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>学力の件は教育長ページで取り上げられており。憂いていることは把握している。ただし人数が多い学級の方が学力の向上が望めるのか。学校統廃合が学力低下を招いているという研究もある。一概には言えない。</p> <p>一概には言えないが、今3校に町費職員がいるため、それを1校に集中することによって、例えば町独自の学級編制を行うことや、少人数の特定教科</p>

保 護 者	<p>の指導をすることによって効果は出てくると考えている。</p> <p>今現在社会で小規模校出身者でも活躍している人も十分いる中で、小規模校では難しいという考え方は注意した方が良い。これから統合のことは親も十分話していくが、学校は子どもにとって家庭の次に重要な集団なため、その在り方が子ども抜きで進めて行ってはならない。</p>
教育委員会	<p>子どものことを考えて統合問題を協議している。子どもが不安にならないようにとの意見だと思うが、子どもの将来に責任をもってどういった教育環境がいいのか、どういった教育活動を展開していくことがいいのかを考え進めて行くことが、地域や教育行政の責任だと考えている。将来的な子どもの成長を考えた場合、このような教育環境を整えることが望ましいということを示した。保護者の思いとは違うかもしれないが、我々としてはこれからの子どもたちのことを考えた場合、こうした一定規模の学級の中で学び合う教育環境のもとですすめることが責任だと考えている。</p>
保 護 者	<p>親の感情論でいうと、12ページの1-②に在校生は利別小で卒業させたいとあるが、親の感情論的にいうとバツサリ切られ、すごく冷たいという印象を持った。その親は不安だと言っている。そういう部分をケアすることが大事。卒業まで後1年で統合した子どもたちの心の動きを追った研究もある。子ども中心の話し合いをもっとすべきだと思う。大人の事情はわかるが、子どもが中心の話しになってないのではと思う。その点を憂いている意見をものすごく感じる。また統合へのスピード感に怖さを感じている人が多数いる。</p>
教育委員会	<p>子どもたちを今の学校で卒業させたいという思いは十分理解できる。大人の事情ではなく、教育行政を担う責任を持つ立場として考えている。どの時点でも今の学校で卒業させたいという状況は同じ。毎年同じことの繰り返しである。小学校は高校のように募集停止はかけることができない。高校では最後3年生1学年だけということはあるが、小学校で募集停止かけて、最後の年に6年生数人とはいかない。そういったことを考えた場合、統合前提で恐縮だが、どの時点でも親はその学校で卒業させたいという思いはある。</p>
保 護 者	<p>あと1年で小学校を卒業できなかった子どもを、高校生になる年代で調査した研究があるが、あきらめをもっていった。子どもの意見が聞かれることなく決まっていたとの声があった。子どもを中心に据えた話しをしていく必要がある。</p>
教育委員会	<p>子ども中心に据えた考えは理解できるが、子どもを中心に据えて教育活動や将来的な成長を考えた場合、地域の大人の責任や教育行政の責任はどこにあるのか。子ども中心だけを求めた場合、我々の責任はどこにあるのか。</p>
保 護 者	<p>大人の責任と子どもを中心にした話しを進めることは相反しない。こちらをとればこちらが難しくなる。こちらを取ればこちらが悲しい思いをする。そういう意味では言っていない。個人の考えである。教育長の立場もあるので、子どもを中心に据えた話しをしていると思う。子ども抜きの話しと思っていない。微妙にニュアンスが違うだけだと思う。</p>
教育委員会	<p>子どもの成長を中心に据えた話しをしている。子どもたちの考えや該当学校の教職員の意見を聞くべきだという質問があったが、あえて意見は聞か</p>

保護者	<p>ないこととしている。先生は最大6年間しかいない。その先生に将来的な池田町の教育の在り方に関して意見を聞くのは酷である。子どもたちは統合したくないという意見が多いと思うが、教育活動を担う立場として、子どもを中心に将来的なことを考えて示している。</p>
保護者	<p>日本は子どもの権利条約を批准しているので自己の見解をまとめる力のある子どもの意見は聞かないといけない。あまり公の立場で今のような発言はもしかしたら突っ込みどころがあると感じる。</p>
教育委員会	<p>13ページの7臨時教員の配置について、毎年学級担任が変わることが望ましくないとあるが、毎年学級担任が変わる学校が管内には普通にある。あまり負な印象は無いが、なぜ望ましくないのか。</p>
保護者	<p>他校の事例はわからないが、池田町を考えた場合学級担任の持ち上がりが基本的にある。臨時教員が学級担任を持った場合、経験年数が少ない人が担任になることや、また、教員採用試験を受け、登録となるといなくなるので、次の年は担任を外さなくてはならない。基本的に持ち上がりを考えると、担任がコロコロ変わることは望ましいことではないと思う。</p>
保護者	<p>続いて④について、PTAの総意として、複式学級が一時的に発生したとしても、学校は残そうと考えた場合、その決定を最大限受け入れてくれるのか。</p>
教育委員会	<p>そういう可能性を全面的に否定するものではない。</p>
保護者	<p>複式に関わって、前回へき地小規模校推進フォーラム事業の話をしたが、誤解があったようで、日本の施策として小規模化を進めているわけではない。そのフォーラムの2回目が実施され、文科省からの講師が、北海道人のチャレンジスピリット、開拓精神は北海道の教育が積み上げてきたへき地複式教育のたまものだと言い切っている。話しの中で出たため文科省の正式見解ではないが、そんなに小規模校や複式であることがマイナスだとはもはやアンケートで寄せられた記述を見る限り、住民はそうは思っていない。こういったところは大事に見ていく必要がある。十分な理解を図りながら進めていく必要がある。岩手大学の教育学部の付属小学校ではあえて複式学級を作っている。複式の方が、人気があると言われている。</p>
教育委員会	<p>小規模複式校の良さや、進んでいるところもあることは意見として承る。公立学校を所管するものとしては、国の制度はそうっていない。複式学級や普通学級の学級編制基準は変更されていないし、教職員定数改善もおこなわれていない。そういった国の施策の中で公立学校を設置して、運営していかねばならないことが現実である。私立や国立大学法人であれば自分たちの研究テーマでできるかもしれないが、あくまでも国の制度の中で運営される公立学校はその制度の中で運営していかねばならない。国が小規模校化に向かっていない中、池田町だけ小規模化とはならない。現状を考えると統合になったらすぐ学力があがるわけでないが、少なくとも3校にある予算を1校に集中することで、効果的な教育活動を展開できるという可能性があると思う。</p>
保護者	<p>6月に行ったアンケートについて、教育委員会がPTA役員に取るようお</p>

教育委員会	<p>願いしたのか。経過を知りたい。</p> <p>今後の場をどのように設けるかを考えた際、PTAの新役員になってから協議を始めようと思い、新役員に説明した。その後PTA役員が保護者に資料を配布した際、疑問や要望を取りまとめてくれ、教育委員会に関連する部分は答えてほしいと提供してくれた。こちらからお願いしたわけではない。</p>
PTA 役員	<p>教育委員会からPTA新役員への説明を受けたため、保護者へ資料を配布しないとないと思ひ配布した。その際意見要望があるだろうと思つたため、一枚文書を付けた。</p>
保 護 者	<p>このような場でなかなか話せない方が多くいると思うので、書面を通じて自分の思いを伝えることができることは大事にしてほしい。今後アンケートを取らないとあつたが、声を拾うアンケートは続けてほしい。教育委員会からの配布文書を読んだ際の印象では、臨時職員について統合をするなら2人配置し、しないなら1人とあつたため、最初は悪いイメージを持った。今回話しを聞いたら違つていたので、配布文書だけだと誤解をもつて読んでしまふ。そのためアンケートや説明会を続けてほしい。</p>
教育委員会	<p>意見要望を伺う機会については検討する。臨時教員については考え方として、統合までの移行期間として2人配置とした。基本的に高島小は複式3学級で臨時教員1人を配置している。他町では配置はない。池田町では複式学級の授業指導の難しさから1名配置を基本としている。利別小は昨年から複式1学級となつているが、予算編成時に複式1学級に1人配置が必要かという議論があつた。保護者からの要望もあつたが、2・3年生という教科が違ふ学年を組まざるを得ない。十勝管内では3校のみ。普通は1・2年生、3・4年生、5・6年生という組み方となるが、特殊事情を踏まえ臨時教員を配置し単式学級にしたほうが良いと考えた。今年度は3・4年生のため教科の不都合はないが、PTAから要望があり、今年度は複式学級、来年は教科の違ふ学年の組み方となるため単式学級というのは子どもにとって好ましくないで継続してほしいと。教科に相違がないがこれらを踏まえ今年度も継続した。基本的にはその学年は臨時教員1人配置の基本は守りたいと考えているが来年度から複式学級が2学級となるため、その対応を検討している。統合を見据えた場合は2人の臨時教員配置を念頭に検討している。</p>
保 護 者 教育委員会	<p>複式学級となる学年の保護者は不安に思つている。ぜひ声を拾つてほしい。</p> <p>今の4年生が卒業するまでは臨時教員1人配置は継続していきたいと思つている。</p>
教育委員会	<p>今後、高島小PTA役員へ今回の内容を説明するが、その後利別小保護者と地域を入れた説明会をどう行うか、PTA役員と相談しながら進め方を検討していきたい。</p>
	<p>～終了～</p>